



▲大橋館長、古賀さん、長野さんによる白秋メドレー



▲元気に校歌を斉唱する一小児童

## 北原白秋生誕を祝う

### 白秋生誕祭開催

日本の詩聖とうたわれる北原白秋の生誕を祝う「白秋生誕祭 in 母の里なんかん」(主催:宿場町伝楽人)が1月21日に御茶屋跡で開催されました。

当日は、前くまもと文学・歴史館館長の井上智重さんによる、白秋を取り巻く環境や人々についての講話が行われました。また、白秋生家記念館館長の大橋鉄雄さん、ソプラノ歌手の古賀理紗さん、ピアニストの長野恵理さんによる白秋メドレーが披露され、懐かしく美しい歌やメロディーに来場者たちはうっとり。その後、一小の児童たちが白秋作詞の同校校歌を斉唱し、元気な歌声が会場を包み込みました。会場には白秋直筆の掛け軸や白秋の詞歌を書家書いた短冊、伝楽人が作成した童謡の篇額、白秋と母の実家である石井家の説明パネルなどが展示されました。

## 思い出を花入れに込めて

### 町内小学6年生が作陶体験

南関町まつり実行委員会(雪野栄二実行委員長)は1月26日と2月2日、町内3窯元指導の下、町内小学6年生を対象に小学生生活最後の卒業記念品製作として手びねりによる作陶体験を行い、花入れ作りに挑みました。

これは、陶芸を通して子どもの自由な想像力を発揮する場を提供することを目的として開催。児童たちは作品に想いを込め、集中して作りあげていきました。

参加した本田湧人くん(一小)は「形を工夫した。完成が楽しみ」と笑顔で話しました。作品は、3月3日、4日の陶器・梅まつりで行う「こども陶芸展」で展示する予定です。



▶個性あふれる作品を制作する児童たち

▶消防署員による放水を見学する伝楽人の皆さん



## 防災意識を高める

### 御茶屋跡で防火訓練

国指定史跡・南関御茶屋跡で1月26日、防火訓練が行われ、貴重な文化財を守るため関係者が通報や放水の手順などを確認しました。

毎年1月26日は文化財防火デーに制定されています。訓練には、御茶屋跡を管理する宿場町伝楽人(宮尾洋一会長)や消防署などから約20人が参加。伝楽人の通報から消防団員と消防署員が連携して放水するまでの一連の作業を迅速に行いました。

放水作業後、消防署員から初期消火の対応や消火器の使い方の講習を受けました。消火器を体験した伝楽人は「実際に体験することの大切さが分かった」と防災に対する意識の変化を語りました。

## 子どもの体力向上プロジェクト 南関子ども体力向上推進コンソーシアム

南関子ども体力推進コンソーシアム会議(原口護代表)は1月19日、南関第四小学校(堀田昌司校長)でスポーツ庁委託事業「学校における子供の体力向上課題対策プロジェクト」の一環で行っている授業を視察しました。

これは、本事業の取り組みである授業を公開することで、より事業の目的や内容の周知を図ることを目的として実施。この日は同校2年生14人の体育の時間を公開し、現状を見学しました。

その後、同委員による意見交換会を行い、感想や今後の課題などを話し合いました。

▶授業を見守る同会議委員



▶優勝した南関町チーム



## 25年振りの優勝

### 第42回玉名駅伝大会

玉名郡体育協会は1月14日、和水町体育館駐車場をスタート・ゴールに第42回玉名駅伝大会を開催しました。

大会は、選手たちの力走により白熱したレースが展開。南関町は2位の和水町菊水チームと大接戦の末、見事優勝。2区の津留萌花さん(関町)は区間賞に輝きました。

今大会には1市4町(玉名市と和水町は中学校区別)の男女混合11チームが出場。選手たちは10区間41.5キロのコースを駆け抜けました。

- |    |          |           |
|----|----------|-----------|
| 1位 | 南関町チーム   | 2時間18分48秒 |
| 2位 | 和水町菊水チーム | 2時間19分1秒  |
| 3位 | 玉東町チーム   | 2時間19分23秒 |

## 2020年に向けて、 そしてその先へ

### 東京2020パラリンピック競技体験イベント

町と公益財団法人日本レクリエーション協会(小西亘理事長)は1月23日、南の関うから館で東京2020パラリンピック競技体験イベントを開催しました。

これは2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、町でパラリンピックへの関心向上を目指し、障がい者スポーツへの理解促進へつなげるイベント。全国では山梨県甲府市、高知県高知市、南関町で開催されています。

当日は、オリンピック女子200メートル平泳ぎ金メダリストの金藤理絵さん、リオパラリンピック車いすバスケの藤本怜央さん、佐藤町長によるトークセッションが行われ、今後のパラリンピックの在り方や課題などが話されました。また、パラリンピック競技体験や障がい者体験も行われ、来場者たちは初めて行う競技を楽しんだり、障がいがあることの大変さを体験したりしていました。



▶トークセッションを行う選手と佐藤町長たち



▶障がい者体験を行う生徒